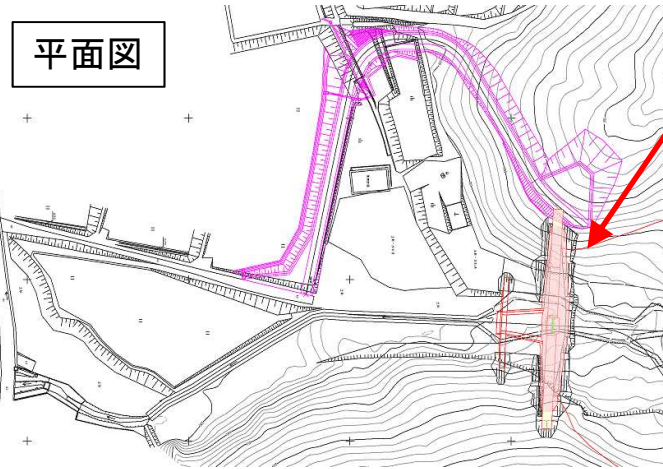


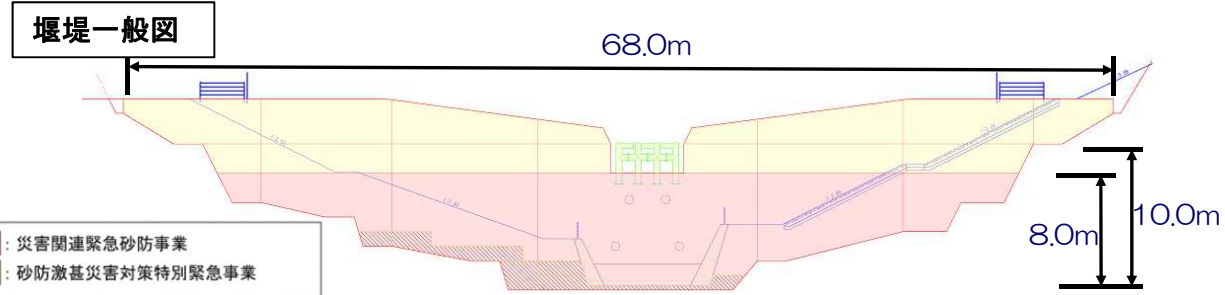
【本頭川隣】 災関緊急砂防事業・激特事業 堰堤工事（本堤部）の完了について  広島県

平成30年7月豪雨に伴い、東広島市西条町において発生した土砂災害（土石流）に対して、広島県が緊急的に実施している災害関連緊急砂防事業・砂防激甚災害対策特別緊急事業について、堰堤工事（本堤部）が完了しました。（令和2年8月28日）引き続き、地域の安全度を高めるため、堰堤周辺部などの工事を実施します。



【事業概要】
 保全対象：人家5戸
 国道L=約220m
 市道L=約780m
 主な対策：砂防堰堤 1基
 高さ10.0m，幅68.0m
 （緊急事業分：高さ8.0m）
 採択額：約2.7億円（緊急事業）

【被害状況】
 土砂災害発生日：平成30年7月7日
 死者：3名
 全壊：1戸
 国道：約100m
 市道：約200m

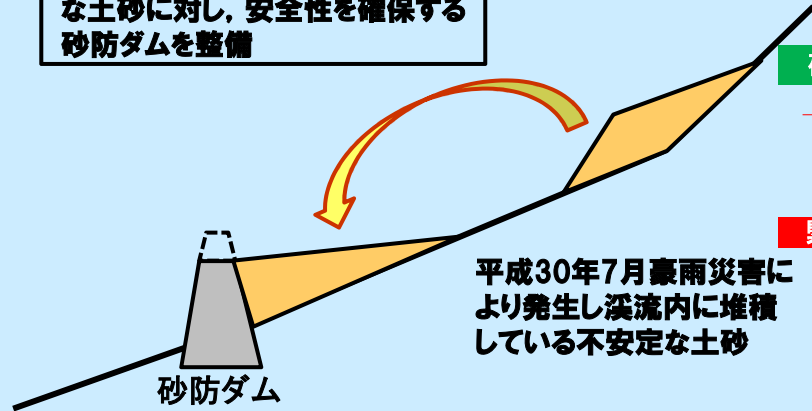


被災状況



緊急事業

豪雨災害により発生した不安定な土砂に対し、安全性を確保する砂防ダムを整備



本頭川隣砂防ダム

砂防ダム完了高さ

緊急事業完了高さ

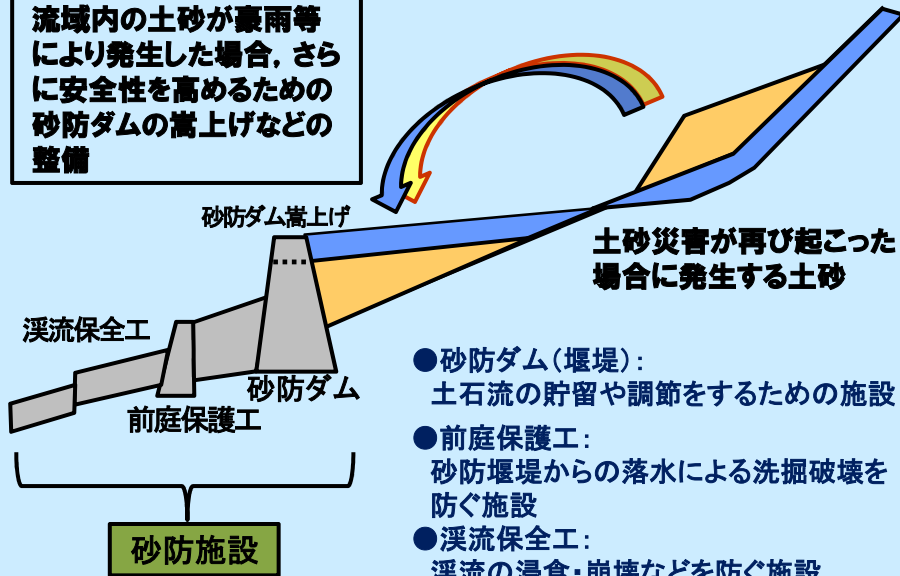
68.0m

8.0m

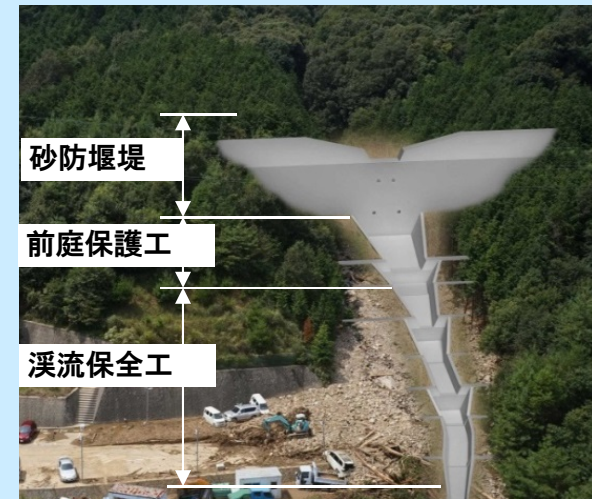
10.0m

引き続き行う 流域の安全性を高めるための砂防事業

流域内の土砂が豪雨等により発生した場合、さらに安全性を高めるための砂防ダムの嵩上げなどの整備



- 砂防ダム(堰堤): 土石流の貯留や調節をするための施設
- 前庭保護工: 砂防堰堤からの落水による洗掘破壊を防ぐ施設
- 溪流保全工: 溪流の浸食・崩壊などを防ぐ施設



砂防施設完成イメージ